深澤晟雄の会ニュー

号 第 81

特定非営利活動法人 深澤 晟雄の会 (2015年6月25日発行)



総会には秋田県にかほ市、千葉県柏市からの出席 者もあり、懇親会にも参加して「生命尊重のふる

さと」で町民との交流を深めました。

係者が集まって記念事業実 をお願いし、記念行事は8月 念事業を進めようと、6月9 機関、団体が協働して周年記 で行うことにしました。 西和賀さわうち病院に関 尊重理念を共有する関係 委員会を立ち上げました。 日午後1時から銀河ホ 麥員長には細井洋行町長

理事長に佐々木孝道氏 深澤晟雄の会総会開く 予算を原案通りで承認した と決算、27年度事業計画と が出席して開かれました。 選が行われました。 人福祉センターで会員 25人 総会では 26 年度事業報告 任期満了に伴う役員改

を提示して承認されました。 を希望しており、理事長以 事長は健康上の理由で退任 事務局案はないのかの 事務局から太田祖電理 監事とも留任案 声

流を深めました。 堂およね」に会場を移して交 演があり、懇親会は「農家食 賀さわうち病院長の記念講 監事=刈田敏・佐々木繁子 理事長=佐々木孝道 理事=深澤佳道・佐 副理事長=加藤和夫 総会終了後、北村道彦西和 1々木玄

8月22日開催 周年記念事業

年・沢内病院開設 60 う記念すべき年を迎え、生 られる深澤村長没後 生命尊重行政で国内外に 周年と

6 月 13

日午後5時から老

副

理事長を選出、次の新体制

韓

直ちに理事の互選で理事長

が決まりました。

第9回深澤晟雄の会総会

会福祉研修生26人が深 澤資料館を訪れました。 6月3日、 韓国 の

資料館では帰国後も

金一封に感謝

盛岡 北上市若宮町 花巻市高木 福島県郡山 秋田県秋田市 宮城県仙台市 北海道札幌市 北上市和賀町 三重県桑名市 上市二子 市盛岡駅 町 西通

深 Ξ 鈴 J 風佐 伊 山 木 R 間 渡 田 藤 崹 東労組 順 蔵 成 妙 様 様 様



よう、

韓国語による生

団の幕を広げて記念撮影 与真は資料館前で日本研 うなずきながら聞き入 ドの説明を通訳する言 録を用意しました。ガイ 命行政の業績と深澤語 る姿が印象的でした。 栗を真剣にメモしたり、

> TEL 0197-81-1722 FAX 0197-81-1723 ホームページ: www.fukasawa-masao.jp/

通訳なしで活用できる

旧沢内村の人生楽園文集「あしあと」から

故高橋清吉さんの 「私の歩んだ道」 4



断られ、奥さまのところに米を投げ 貰ったり、買ったり、 そりお礼に行った。 ので後日保有米を若干持って、こっ ありがたかった。食糧難の時だった 沢尻病院に連れて行くことだった。 いて聞いてくれた。先生は自分で黒 いものか、嘆願した。先生はうなず の宣告みたいなことである。 ところが何と役場の者から米を 私は斉藤先生に何んとかならな

出して逃げて帰った。 後でそのこと お礼を受ける ケンボロに なったことをおわびします。



<清吉さんの表彰歴 ③>

民生委員で地方民生安定に 昭 23.4.1 寄与(岩手県知事感謝状)

31.11.15 国保税完納に寄与(村長表彰) 33.10.26 国保事業発展に功績(村長表彰) 40. 2. 24 多年町村自治行政に功績(岩 手県町村会長表彰)

アイディア賞(村長表彰)

40.8.13 多年勤続・精励功労(村長表彰)

夫医師がいた時である。

法定伝染病の疑いある患者が

出

その一、終戦の頃だった。

しないが、二・三のヘマと失敗を書

想い出もモウロクしてはっきり

退職してから、

も う **15**

年になっ

いて恥さらしのあしあとにしたい。

42. 3. 31 退職記念村長感謝状

られない時代で、正にその家族全滅 がないし、食糧などおいそれと求め 当時隔離といえば、その家屋ぐるみ 族の往来もできない。あらゆる物資 家族を消毒し、外出はもちろん、 たので隔離の処置が必要だという。

の軍服と軍帽、 を見舞いした。枕元に真新しい将校 後太田タマ(当時の村長母堂)さん 二人で二・三人の患者を見舞いした エ君 ほかだ。君は役場をやめる気か」と 談せず、そのようなことはもっての である。こともあろうに上司にも相 ったらしい。「あの人は共産主義者 機嫌を損じて大変なことがあった。 その二、黒沢尻病院で佐々木庄兵 新田三次郎さん(上司)の耳に入 (故人)と偶然一緒になった。 軍刀がきちんと置

尻病院を巡る騒動あれこれ

見舞品が整理されてあった。

護婦が巡回に来てすぐ帰った。 ともない外国のウィスキーである。 丸瓶を出して、自分で封を切り飲み ら見舞品の中から、小さい赤茶色の 庄兵エ君と二人で少し飲んだ時、 なさいと進めてくれた。当時見るこ 大変喜ばれ、お菓子など進めなが

で行くと、婦長室だった。 にちょっと用があると指示されたの (おわび=表彰歴は年代順不同 庄兵工君が院長に用があると部屋 巡回の看護婦が来て私

> TEL&FAX 0197-85-3838 E メール masao@nisiwaga.net